

Muchas gracias

本当にありがとう！

Fue divertido

最高に楽しかった！

Quiero ir de nuevo

またアルゼンチンへ行きたい！



アルゼンチンとの交流が 末永く続くように

●長田小5年 秋田三夏実さん

エスコバル日本語学校で、「マンチャ」というゲームをしました。日本の鬼ごっこの様なゲームです。日亜学院は、日本と同じように算数や英語などがあり、日本語やスペイン語も勉強していました。私が自己紹介すると、みんな「よろしく！」と日本語で自己紹介をしてくれて、とても楽しい時間でした。これからもアルゼンチンとの交流が末永く続くと良いと思いました。



ホームステイでの かけがえのない出会い

●境小6年 田上鈴葉さん

ホームステイでは、素敵な出会いがありました。フロリダちゃんという一学年上の子で、最初はしゃべれなかったけれど、スマホやプリントを見ながら日本語で話しかけてくれて、いつの間にか仲良くなっていました。本当のお姉ちゃんのように接してくれて、ずっと笑顔でいることができました。最後のお別れでは、涙が出そうでしたが、一緒にいてくれてとてもうれしかったです。



とっても楽しかった 日亜学院での交流

●境小6年 岡田心詩さん

日亜学院での交流では、生徒と一緒にダンスをしたり、「フィレアトポルテニオ」というぬり絵をしたりしました。また、英語の授業に参加することができ、英単語を少し書くことができて、先生にほめられたのがうれしかったです。休み時間には、アルゼンチンで一番やりたかったサッカーができてとても楽しかったです。また、アルゼンチンを訪問して友達に会いに行きたいです。



おもてなしがうれしい 茨城県人会歓迎会

●境小5年 横川結迦さん

歓迎会では、茨城県人会の方々や日本語学校の先生や大勢の生徒たちに出迎えてもらいました。たくさんの美味しい料理とおもてなしをしてもらい、感謝の気持ちでいっぱいです。地元の子もたちとも、トランポリンで遊ぶことが出来ました。私たちも、アルゼンチンでうけたおもてなしと同じように、オリンピックで日本に来るアルゼンチンの選手を温かく歓迎したいと思います。



色鮮やかな カミニートの街並み

●境小5年 染谷美海さん

私がアルゼンチンに行つて、印象に残ったところは「ラ・ボカ地区」です。カミニートの家は鮮やかな赤やオレンジ、黄色に塗られた建物がありとてもかわいく、境町にもカミニートの家みたいな色使いの建物がいっぱいあると楽しいなと思いました。アルゼンチンは、町全体が明るい印象で、人も明るく親切でたくさん話しかけてくれてとても楽しい思い出となりました。



遠い国で経験した 交流と充実した時間

●境小5年 篠崎和花さん

アルゼンチンでは、スペイン語が上手に話せなくても、みんな親切に話しかけてきてくれて通じ合うことが出来ました。お金の使い方も、一度買い物してみると難しくありませんでした。とても遠い国と思っていたけど、日亜学院の皆さんと一緒にいった方などたくさんの友達が来て、充実した時間を過ごせました。大人になったら必ず、もう一度アルゼンチンを訪れたいです。



ホストファミリーの皆さん、ありがとう！



電車移動を体験！



食文化の違いを体験！



動物とのふれあい



ホストファミリーと街へ



すべてが新鮮！



交流や出会い



小池会長宅でトランポリン



街並みと一緒に



不思議なトリックアート



自分の言葉で買い物体験



遊びを通して学びを発見



市内観光でめぐった カラフルで印象的な壁

●静小6年 櫻井啓人さん

待ちに待ったアルゼンチン。はじめは不安だったけど一緒に参加したみなさんとコミュニケーションが取れるようになり、緊張がほぐれていきました。特に、ブエノスアイレス市内観光が思い出に残っています。「南米のパリ」と呼ばれていて、建っている家の壁がカラフルなのが印象的でした。一緒にめぐったガイドさんの地元を愛する気持ちが伝わる説明も、とても勉強になりました。



アルゼンチンとの交流が 末永く続くように

●森戸小5年 大野佑莉さん

大使館では、在亜大使からアルゼンチンについて教えてもらいました。アルゼンチンは色々な国の人たちが移住してできた国で、日本は8月が一番暑い時期ですが、アルゼンチンでは1月が一番暑いそうです。実際行って見て、生活や気温、食事などの文化を知ることができて良かったです。これで終わりにせず、色々な人たちに伝えたり、これからも交流を深めたりしていきたいです。



言葉や文化を学び コミュニケーション

●猿島小5年 加藤蓮さん

ホテルでは言葉が通じなくて部屋の鍵がもらえないこともありました。言葉が通じなくて困るという経験は初めてでした。これは「勉強しなければならぬ」と思い、同じ部屋の友達とスペイン語の本を見ながら、挨拶の他にも数字など、いろいろな言葉を覚えました。将来また海外に行くときは、その国の言葉や文化をもっと勉強して、もっとコミュニケーションを取りたいです。



スペイン語を学んで またアルゼンチンへ

●長田小6年 堀百合菜さん

ホームステイ先では、簡単なスペイン語と体を使ったジェスチャー、翻訳機を使って話をしました。オペリス観光やボーリングをしたりとホストファミリーと楽しい時間を過ごしたけれど、もっとスペイン語で話をして仲良くなりたかったです。これから、スペイン語と英語をたくさん勉強し、日本の文化や歴史を伝えられるようにして、家族でもう一度アルゼンチンに行きたいと思っています。



言葉が通じなくても 笑顔で楽しめた10日間

●長田小6年 成島彰人さん

最初はどきどきと緊張感でいっぱいだったホームステイでしたが、ホストファミリーとの交流を通して、自分一人でもなんとかして思いを伝えることや、アルゼンチンの人たちの積極的な明るさや優しさを学びました。言葉が通じなくても、笑顔で楽しく過ごせたことが一番の思い出です。次にアルゼンチン派遣事業に参加する人たちにこの経験を伝え、学んでほしいと思います。



温かく接してくれた ホストファミリー

●長田小5年 西山梨々香さん

ホームステイでは、ホストファミリーが私と家族のように接してくれました。ボウリングに行ったり、アルゼンチンの伝統的な料理をごちそうしてくれました。日亜学院の方々も明るく話しかけてくれて、休み時間には一緒に遊ぼうと誘ってくれました。最終日には、バスが見えなくなるまで手を振ってくれました。私も、アルゼンチンの方が境町に来たらやさしく接してあげたいです。



アルゼンチンでの 経験は私の宝物

●長田小5年 加藤柚妃さん

日本の食べ物とは違い、お米はほとんど食べることがなくて、日本食が食べなくなったりしたけれど、アルゼンチンで食べたお肉は今まで食べたお肉の中で一番おいしかったです。小学一年生の時からアルゼンチンに行くことを目標にしていたので、行くことができて本当に嬉しかったです。長時間のフライトはとても大変でしたが、アルゼンチンで経験したことは私の宝物になりました。